



弓庭 登さん (82才)

弓庭計算実務学校を経営する傍ら、昭和54年4月から平成21年3月まで、30年間にわたり行政相談委員として、献身的に相談活動に取り組まれました。平成19年には、行政相談功勞により瑞宝双光章を受賞されています。

行政相談委員 弓庭 登さん 30年間の永きにわたり、 ありがとうございました。

このほど、その功績に対して総務大臣より感謝状が授与されました。
感謝状を手にした弓庭さんにお話を伺いました。

聞き手 行政相談委員を引き受けられた理由はどんなことですか？

弓庭 当時の役場の人に推薦されたのですが、自分自身の中に社会奉仕の精神があったからだと思います。旧制中学の頃、経済的な理由から学校をやめるかどうかというとき、大変お世話になった方がいたのですが、その方の影響もあり、世の中に出て一人前になったら、なんらかのかたちで社会にお返しをしたいと思っていました。

聞き手 30年でのどのくらいの相談にあられたのですか？また、どんな相談が多かったのですか？

弓庭 月に3件はあったので、30年で1080件以上になります。内容は、離婚や自動車事故、金融関係、行政への要望や苦情など

様々です。正月元日に島でトラブルがあり、電話で相談がは入り、3日に島へ行ったこともありました。また、住民からの要望で、道路の停止線の位置変更を開発に訴えたり、郵便ポストの適正配置を郵便局に働きかけたりもしました。

聞き手 相談は毎月開催している行政相談の会場だけではなく、ご自宅でも受けられていたんですね。

弓庭 いつどんな相談にも応えるようにしていました。そして、どんな場合でも、秘密を守ることを一番に心掛けていました。それが信頼につながったのだと思います。

聞き手 一言では言い尽くせないでしょうが今のお気持ちを聞かせ下さい。

弓庭 「ホッとした」というのが正直な気持ちです。やはり、気が張っていたのだと思います。

聞き手 本当に大変なお仕事を長い間ありがとうございました。

相談を
終えて
薄氷分かれたり
一翔

弓庭さんに、趣味の俳句で退任の一句を詠んでいただきました。

新しい行政相談委員です。
よろしくお祈りします。

羽幌町南5条6丁目

花村春光さん(68才)



行政相談委員とは

行政相談委員法に基づいて、総務大臣から委嘱される委員です。社会的信望があり、行政運営の改善に理解と熱意のある民間有識者の中から委嘱されます。行政サービスへの苦情、行政の仕組みや手続きに関する問合せなどの相談を受け、その解決のために助言や関係機関に対する通知等の仕事を無報酬で行っています。